

実践型学習で"高まる英語力"

～SAYAMA English Now～

問い合わせ 教育指導グループ ☎360-4523

市内の小・中学校では、子どもたちの英語力のさらなる向上のため、多様な学びを実践しています。今回は、その一部を紹介します。

AIによる英語デジタル学習ツールを使ってスピーキング力をUP!

授業や家庭学習で、AIが英会話の精度や^{りゅうちょう}流暢さを判断するBASE in OSAKA(大阪府独自のデジタル学習ツール)を使用しています。子どもたちは、「発音が上手になりたい」と英単語や英文音読を意欲的に学んでいます。



【小・中学生】



音声や画像がたくさん使われているので、楽しみながら学ぶことができます

タブレットは自分の答えがあっているかすぐに確認できるし、間違えても繰り返し挑戦できるのが良いです

小中一貫教育で学習意欲UP!

同じ中学校区の中学1年生と小学6年生が英語を通じて交流しています。

中学生が小学生に英語で学校を紹介した動画を送り、小学生が中学生に入学後にしたいことについて、動画で返信をしました。自分たちの英語が伝わったことを実感し、お互いに英語学習への意欲を高めています。

動画で交流した児童・生徒の声

中学生のように英語をスラスラ話せるようになりたい

中学生に自分たちの英語を聞いてもらえてうれしかった



【小学生】

言葉だけではなくて、ジェスチャーでも表現していてわかりやすかった

英語の学習は大切だと改めて思えた



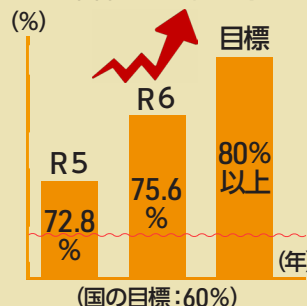
【中学生】

分析結果から目標を持って、継続的な学習ができる!

中学校卒業段階の英語力はCEFR(外国語の習熟度を測る国際的な指標)のA1レベル相当以上が目標とされています。国の目標割合が60%以上のところ、大阪狭山市の中学2・3年生が受験するGTEC(スコア型英語4技能検定)によると75%を超えています。子どもたちは、細かく分析された結果から自分の学びを振り返り、さらなる英語力の向上に向けた学びを進めています。



≪市立中学3年生のCEFRでのA1(※)相当の生徒の割合≫
(%)



実践的な学習を継続することにより生徒の英語力が高まっています。

※英語を使った自己紹介や基本的な情報交換など簡単な日常会話や表現を理解し、使用できるレベルで、英語検定の3級に相当します

わたしたちのまち大阪狭山市 ～グローバルな取り組み！～

小学5年生と中学2年生が狭山池、大野ぶどうなど大阪狭山市の好きなところやその場所でできること、おすすめの店をお互いに英語でポスターを作成して紹介しました。友だちがどんなところを選んで発表しているのか興味を持ち、自分たちが住むまちの魅力を感じ、「もっと多くの外国人にも大阪狭山市のことを伝えたい」という気持ちを高めています。



英語で友だちや先生と伝え合う ことが楽しい！

小・中学校ともに英会話を積極的に行っています。小学3・4年生は英語支援の会、小学5・6年生はALTが支援しています。中学校にはALTが常駐し、授業時間以外にも英語であいさつや会話をしている生徒もいます。

英語プレゼンコンテスト

令和5年度から実施している英語プレゼンコンテストでは、小・中学生と狭山高校の生徒が参加し、自分たちの住むまちや学校生活についての様々な思いを自分の言葉で発信しています。



▲昨年度の英語プレゼンコンテストの様子▲

英語プレゼンコンテストを実施します

8月26日(火)午後に狭山池博物館・ホールで開催し、一般参観も可能にする予定です。詳しくは問い合わせてください。



これまでのプレゼンコンテストのタイトル

- My family ●My Hometown ●My school
- Our earth～About global warming～
- Leaders should be... ●Enjoy Volleyball
- About Japanese food ●Changing the world
- Meaning of the Flag ●NEW OLYMPIC STAR

英語のプレゼンテーションは難しいかもしれませんが、自分が学んだことや感じたことを英語で表現することで、英語力だけでなく、コミュニケーション能力や表現力、論理的思考力を高めます。これから社会に出る子どもたちに大いに役立つ取り組みです。今年度のプレゼン大会もとても楽しみです！

第三中学校
上谷教諭

